

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業			交通安全啓発事業			担当課	道路管理課	担当係	交通安全係	管理番号	48421		
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり			根拠法令 個別計画等	交通安全対策基本法、深谷市交通指導員運営規則						
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進				第11次深谷市交通安全計画						
	主要プロジェクト						第5期埼玉県通学路整備計画						
事業概要			交通安全意識の高揚を図るため、各種団体等と連携し、交通安全教室、講習会の開催や各季交通安全運動街頭キャンペーンなどを展開するものである。また、交通指導員を委嘱し、通学路における立哨指導を行うものである。										
目的 ※何のために			交通事故の発生防止										
対象 ※誰・何を対象に			市民										
手段 ※どのように			交通安全教室、交通安全講習会、交通安全運動街頭キャンペーン等を行う。										
成果 ※何を求めるか			交通安全の意識の高揚を図る。										
執行体制			<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
事務事業を 構成する 予算事業			区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額（円）			
			一般会計	2	総務費	1	総務管理費	12	交通安全対策費	交通安全啓発事業	13,119,633		
本事業の 主な業務			・小中学校交通安全教室				・交通指導員の任命						
			・高齢者交通安全講習会				・交通指導員会議の運営						
			・各交通安全運動				・交通指導員の活動計画の策定						
			・交通安全計画の策定				・						
			・交通安全協会補助金交付				・						
			・交通安全母の会活動支援				・						

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		交通安全街頭キャンペーン 交通指導員による立哨指導等	交通安全街頭キャンペーン 交通指導員による立哨指導等	交通安全教室 交通安全街頭キャンペーン 交通指導員による立哨指導等	交通安全教室 交通安全街頭キャンペーン 交通指導員による立哨指導等		
事業費	予算(現額)	15,952,000	15,482,000	15,482,000	15,725,000		
	決算額	13,723,777	13,119,633	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	13,723,777	13,119,633	15,482,000	15,725,000		
人件費	従事職員数(人)	1.42	1.42	1.49	1.49		
	人件費相当試算※	11,021,919	11,174,771	12,212,617	12,212,617		
総事業費試算		24,745,696	24,294,404	27,694,617	27,937,617		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	交通安全教室実施数	目標値	回	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市主催の交通安全教室を市内すべての公立小中学校で実施することを目標値として設定 / 実数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	交通指導員委嘱数	目標値	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	
		実績値		38.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		適正な交通指導員の配置人数を目標値として設定 / 交通指導員数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	高齢者交通事故死傷者数	目標値	件	114.00	104.00	104.00	104.00	104.00	104.00	
		実績値		104.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和 4 年度の実績値を目標値として設定 / 実数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	コロナ禍の影響により交通安全教室は実施を見送ったが、代替えとなる自転車マナー向上のための学科試験や希望する学校への自転車実技講習を実施することができ、自転車マナー向上に努めることができた。また、交通指導員委嘱数については、目標値を達成していないため新規募集中であるが、毎朝、通学路の危険箇所において立哨指導を実施できている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	高齢者交通事故死傷者数については、目標値を達成することができなかったが、高齢者を対象とした講習会やパンフレット配布などの交通安全啓発を実施し、前年度を大幅に下回ることができた。
			評価者 交通安全係長 石川 秀敏

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	交通指導員による立哨指導については、児童が多く登校する時間帯及び危険箇所を絞り込み、最小限のコストで効果を得ることができた。
			評価者 交通安全係長 石川 秀敏

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通安全啓発事業	担当課	道路管理課	担当係	交通安全係	管理番号	48421
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		コロナ禍の影響により交通安全教室の開催はできていないが、それに代わる代替え事業の実施により、自転車マナー向上に努めることができた。また、通学路の危険個所には交通指導員の立哨指導が行われており、立哨指導中の事故の報告はなく児童は安全に登校できている。そのため、今後も、今まで同様、交通事故ゼロを目指し、警察とも連携して根気強く啓発を行う必要があることから、現状のまま継続とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

